

1. さやま市民大学とは

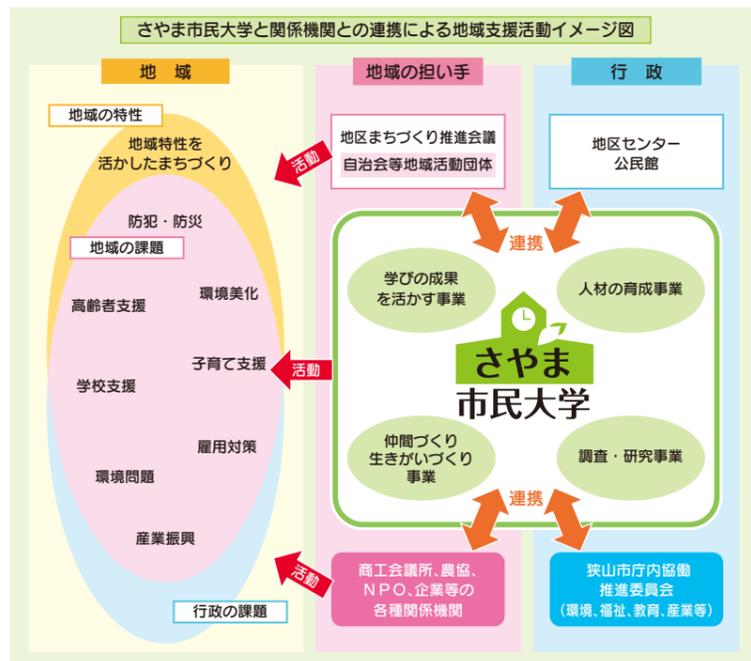
地域課題の解決のために — 近年、人口の減少や急速な少子高齢化の進行、経済状況の悪化などの影響により、地域の活力が失われつつあり、様々な地域課題を解決するための取り組みがより一層求められています。狭山市でも地域の様々な主体と行政が協働してまちづくりを進めるため、「協働ガイドライン」を策定し、地域課題解決に向けて市民との協働を推進しています。

二つの市民大学の統合 — このような社会状況の変化に対応するため、平成 26 年 4 月、狭山シニア・コミュニティ・カレッジ (SSCC) と狭山元気大学の二つの市民大学を発展的に統合し、活力ある地域社会の実現とまちづくり活動につながる人材の育成を目的とする「さやま市民大学」を開設しました。

「さやま市民大学」は、学校教育法上の「大学」ではありません。狭山元気プラザの中に専用キャンパスを持つ幅広い年代層の大人の学舎です。

修了後の活動 — 現在、SSCC や狭山元気大学で学んだ多くの市民の方が、学びの成果を活かして、地域活動、ボランティア活動など狭山を元気にする様々な取り組みを行っています。「さやま市民大学」でも積極的な修了後の活動が期待されています。なお受講生・修了生と地域をつなぐための相談や情報提供を行う「地域連携推進室」を設け、皆さんの活動を応援します。

さやま市民大学の運営 — さやま市民大学は、市が設置し、その運営は市民主体の NPO 法人さやま協働ネットに委託し、行政と市民との協働による運営を推進します。



2. さやま市民大学の事業

(1) まちづくりを担う人材の育成事業

- ① 地域活動に関心のある者を対象として地域社会の理解やまちづくりへの参加を促す学習
- ② 地域課題や行政課題の解決を目指したコミュニティビジネスの起業やボランティアを育成するための学習

(2) 学びの成果を地域社会のなかで活かす仕組みづくり事業

- ① 修了生等の持つ知識や技能に関する情報をデータベース化する人材バンク事業
- ② 修了生等の持つ知識や技能と地域のニーズをつなげるコーディネート事業
- ③ 修了生等によるコミュニティビジネスの起業やボランティア活動を支援するインキュベーション事業
- ④ 修了生等からの地域活動に関する相談等に応じるフォローアップ事業

(3) 学びを通しての生きがいづくりと仲間づくり事業

- ① シニア世代のこれまでに培った能力や技術の更なる探求、新たな知識の習得等を通しての生きがいづくりをすすめる学習
- ② 仲間作りやコミュニティづくりを促進する仕組みを取入れた学習
- ③ 受講生同士や修了生とのつながりをつくる体育祭、文化祭、交流会等の行事

(4) 調査・研究事業

地域社会のあるべき姿を見据えたなかで、既存の事業の見直しや新たな事業の実施について調査・研究し、その成果を「さやま市民大学」の運営に活かします。また、近隣の大学等との連携による事業の実施についても調査・研究を行います。



狭山市 七夕の妖精 おりびい



まちづくり学部 平成 26 年度開設コース

まちづくり学部は、狭山を安心して暮らせる豊かなまちに創り上げることに関心があり、講義・実習・ワークショップ・外部視察等の学びを通して、地域コミュニティづくりに参画したい意欲ある方々のための講座です。修了後は、これまでの修了生が組織する団体や既存の地域団体への参加を含め、一人一人の「思い」に沿った活動をフォローしていきます。



学科名	コース概要
まちづくり担い手養成学科	地域の課題、解決方法等を学びまちづくり人材を育成する
パパ・ママのお助け隊養成学科	子育てを地域でサポートする人材を育成する
健康づくり・介護予防サポーター養成学科	健康づくりや介護予防に関する知識を学び健康づくりを進める人材を育成する
生涯学習案内人養成学科	情報を収集し市民に適切な提供・相談ができる人材を育成する
まちのガーデナー養成学科	園芸の知識を学び花のまちづくりを担う人材を育成する
地域の防災リーダー養成学科	災害時の対応等を学び地域で活動できる人材を育成する

いきがい学部 平成 26 年度開設コース

いきがい学部では、日頃の授業を通して自らの知識や技術の更なる探求を図るとともに、新たな知識の習得を図り、いきがいづくりをすすめます。また学習を通して、仲間づくりやコミュニティづくりにも積極的に取り組みます。修了後には学んだ成果を地域活動や学校支援活動などを通して、地域に還元することを目指しています。

学科名	コース概要	
パソコン学科	入門コース	PCをはじめて学ぶ方を対象にゆっくり操作を学ぶ
	初級コース	テキストを見なくても用語を理解し操作することを目指す
	中級コース	日常生活や市民活動でパソコンが活用できる応用能力を学ぶ
	実用コース	資料作成、情報収集、発信など、実用的な活動に役立つ能力の取得を目指す
英会話学科	初級コース	講師の生の英語に触れ日常生活での基本的英会話を学ぶ
	中級コース	基礎力を伸ばし、場面に応じた適切な表現を使えるようになることを目指す
狭山の歴史学科	普通コース	市の歴史に触れて魅力を発見し後世に伝える活動を目指す
	石仏・文化財コース	市内の石仏・文化財の魅力を後世に伝える活動を目指す
ジャーナル学科		市の情報を発信する地域ジャーナリストの養成を目指す
いきがい学科		少子高齢化社会の諸問題や健康長寿を学び、生きがいを高める
トレッキング学科		自然との触れ合いと、仲間づくりをすすめ、地域での実践を目指す

地域コミュニティの中核になりうる学びの場に

「さやま市民大学」は行政と市民の両者から大きな期待が込められて誕生した公設・民営型の市民大学です。

「元気な狭山を支える人づくりと学びの成果を地域で活かす仕組みづくり」が開設理念です。個人の生きがいや地域貢献という関わりの中で実現できたら、なんと素晴らしいことでしょう。地域課題の解決や他人の幸せづくりが支援できる地域創造型の市民大学を目指します。元気な市民と魅力ある地域を創り出すための「生きがい(キャリア・デザイン)」と「まちづくり(コミュニティ・デザイン)」が学びの両輪になります。

地域の中に新たな自分の居場所を創りだしたい、と考える受講者を私達は応援いたします。



さやま市民大学学長
小山 周三



狭山元気プラザ

●専用キャンパス

旧狭山台北小学校の跡利用施設として誕生した狭山元気プラザ内に、さやま市民大学の専用キャンパスがあります。普通教室の他、パソコンルーム、調理室など、多様な学習環境を提供します。

●コミュニティ・カフェ

校舎内にコミュニティカフェが開設され日替わりのランチが用意されており、修了生の実践的な学びの場となっています

●子育て支援

保育室を開設し子育て中でも授業を受けられる体制があります

●地域連携推進室

毎週相談室を開設し、修了生と地域をつなぐための支援を行っています。

狭山元気プラザへのアクセス

- 狭山市駅東口より、西武バス「井戸窪経由狭山台団地行」に乗り、「狭山台1丁目」で下車し、バス停より徒歩2分。(バスの所要時間は10分程度)
 - 徒歩、自転車、原付の方は、西門からお入りください。
 - 一般車両及び大型二輪の方は、東門(狭山台図書館側)からお入りください。
(北門は障害者及び関係車両専用となりますので進入できません。)
- 敷地内は、時速10km以下で走行し、歩行者等に十分に注意してください。



問合せ先

- さやま市民大学 事務局(運営：NPO 法人さやま協働ネット)
TEL 04-2968-6885 E-mail : sayama29686885@yahoo.co.jp
- 狭山市市民部協働自治推進課 協働推進担当(狭山市役所2階)
TEL 04-2953-1111 E-mail : kyodo@city.sayama.saitama.jp



さやま市民大学

元気な狭山を支える人づくりと人を活かす仕組みづくり



狭山 市